

## ■普及啓発活動②

園内で市民の方や団体向けにプログラムを実施する他に、様々な活動を行っています。11月に市内の中学2年生の職場体験の受入れを行いました。2日間の短い日程でしたが、小学校のプログラム受入れ準備やプログラム中の補助、園内巡視などの仕事を体験してもらいました。11月と1月には、市内の小学校の1年生と幼保こども園の年長クラスの交流の場として、公園で樹木観察を行い、集めた葉を用いて工作を行いました。また、1月には、市内の小学校の1・2年生対象に出前授業を行い、1年生には森から持参した3種類のどんぐりの観察とどんぐりの木の1年の変化の様子、どんぐりと繋がる生きもののお話をしました。2年生には、3年生の5月頃に授業で学ぶチョウの生態についてお話したほか、カブトムシの幼虫をモニターで拡大しながら、昆虫の体のつくりについてお話しました。



出前授業

その他、新たな森の楽しみ方として、例年好評をいただいている未就学児対象のたき火プログラムを、どなたでも気軽に参加できるフリープログラムとして実施しました。スタッフと一緒に火をつけたり、巻き割り体験をした後、マッシュマロやサツマイモ、おにぎりなどを焼いて楽しんでいただきました。



中学生の職場体験

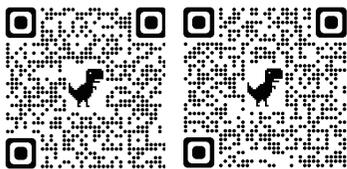


幼保少連携事業



たき火タイム

堺自然ふれあいの森では、FacebookとInstagramの2つのSNSを運用しています。季節の自然や生きものに加えて、保全活動やイベントのお知らせを発信しているので、ぜひフォローしてチェックしてください。



Facebook

Instagram



Instagramには生きものや保全活動を掲載しています♪



### オリジナル ポストカードプレゼント

利用者アンケート記入でプレゼントします。詳細は森の館のスタッフにお尋ねください。

※グッズが無くなり次第終了となります。

# 堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第50号

発行：令和7年3月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

## ■音楽プログラム「晴れても、雨でも音楽会」を開催

2024年10月14日、堺市を中心に南大阪地域のイベントなどで演奏を披露しているグループ「Skylish」をお呼びし、音楽プログラム「晴れても、雨でも音楽会」を開催しました。

今回は、初の試みとして「森を歩いていたら、色々な音色が聞こえそう♪」のアイデアから、来園者が森を歩きながら音を楽しむプログラムを企画しました。当日は、午前と午後の2部構成で行いました。午前中は森の中を歩きながら、園内3か所の広場でSkylishのメンバーから、広場ごとにハンドサインや手拍子、手のひらサイズの楽器などを用いた、様々な音遊びを教してもらいました。未就学児から大人まで、みなさん楽しそうに音を奏でていました。

午後からは、アラカシ広場のステージでSkylishによる、カホンやバイオリンの一種のフィドルを用いた演奏会が開催されました。演奏中に、参加者が音色につられて踊りだしたり、ご飯を食べながら音楽を楽しむ家族連れの様も見られました。演奏曲の中には、午前中のプログラムで学んだ手拍子や音遊びを使って、参加者も一緒に演奏に参加する機会もありました。

晴れた森の中に響く民族音楽と、その音楽を楽しむプログラム参加者の笑い声や、楽器の音色、音に合わせた踊り、それぞれが重なりあい、非常に一体感のある空間になりました。



## 堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00～17:30(3月～10月)・9:00～16:00(11月～2月)

休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始  
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740

TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

**バス** 東北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」  
「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m  
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ

**車** 阪和自動車道 堺ICより東北ニュータウン方面へ約7.5Km  
「堺公園墓地」を目標にお越しください

発行 堺自然ふれあいの森 指定管理者(ふれあいの森パートナーズ)

ふれあいの森パートナーズは、株式会社計画研究所・NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



# 令和6年度下半期（10月～3月）の里山環境の 保全活動・普及啓発活動について

## ■湿地帯の保全活動

ふれあいの森では、生物多様性保全の取り組みの一つとして、草刈りや泥上げによる湿地帯づくりやその維持活動を行っています。沼や水たまり、小川などの湿地帯は、カエルやトンボを初めとした、水環境を生活の一部としている生きものにとって、なくてはならない環境です。

今年度は、スゲ沼に加え、第二豊田川沿いの湿地帯を対象に、泥上げや草刈りによる水面の面積を広げる作業を行いました。その結果、スゲ沼では、ニホンアカガエルの産卵が今年度も確認できました。また、第二豊田川沿いの湿地帯では、センサーカメラによる調査で、タヌキやフクロウなどの動物が餌探しや水飲みの場として湿地帯を利用している姿を観察できました。

## ■スゲ沼の保全作業



## ■第二豊田川沿いの湿地帯の保全作業



## ■里山保全担い手育成プロジェクト

里山保全担い手育成プロジェクトは、次世代の里山保全の担い手を増やすことを目的に開始したプロジェクトです。本年度は、大学生を中心に、15名程度が受講生として参加しました。生物調査の方法や、里山整備の方法、道具の扱い方、安全講習などの実習を受けました。その後、小学生に向けて、里山保全を体験できるプログラムの企画・運営を受講生が行い、「大学生とやってみよう！里山保全体験」を実施しました。



生物調査についての実習



野外作業に係る安全講習



里山保全体験プログラムの実施

## ■季節のプログラム

ふれあいの森では、ふれあいの森の職員とNPO法人 いっちゃんクラブが協働し、さまざまなプログラムを実施しています。

「紅葉の里山あるき」や「野鳥観察」、「季節の里山あそび」などでは、その季節ならではの森を楽しんで頂くことができます。12月に実施した「収穫祭」では、餅つき体験が行われ、つきたての餅を参加者にお土産としてプレゼントしました。この餅は、6月の「田植え体験」で植えられたもので、10月の「稲刈り体験」で刈られたもち米が使われており、植え付けと収穫、そして餅つきまでを体験することができます。これらに加え、「ワタ摘みとラッカセイ堀り体験」や「糸つむぎと機織り体験」などのプログラムがあり、農業や里山文化を体験することができます。

その他、「森の木でクリスマスツリーを作ろう」や「ススキのほうきづくり」といった草木を使ったものづくりのプログラムを実施しました。“材料の調達からすべてできるのがよかった。”といった意見もあり、とても好評でした。

今年も、さまざまなプログラムを実施いたしますので、お気軽にご応募ください。



紅葉の里山あるき



糸つむぎと機織り体験



稲刈り体験



収穫祭での餅つき体験



ススキのほうきづくり



季節の里山あそび

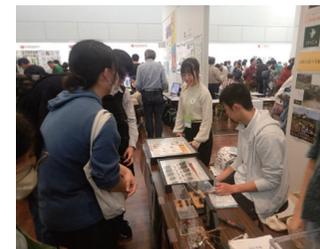
## ■普及啓発活動① 大阪自然史フェスへの出展

ふれあいの森は、普及啓発の一環としてイベントへのブース出展を行っており、そのうち、11月に大阪市立自然史博物館で行われた大阪自然史フェスティバル2024に出展しました。ふれあいの森の施設や生きものを中心に、南部丘陵や保全の取り組みを合わせながら堺の緑の魅力を紹介しました。また、今年は翼が動かせるモズのペーパークラフトのワークショップ実施しました。非常に好評で、多くの方にブースに足を運んでいただきました。堺市の鳥であるモズのペーパークラフトを通して、堺市の自然や生きものに少しでも興味をわけていただきたいという願いを込め、企画しました。

また、担い手育成プロジェクトの受講生も出展者側として参加し、自然や保全の普及啓発の体験の場として、来場者へ解説や紹介を行いました。



出展ブースの様子



来場者への解説



ペーパークラフトのワークショップ